

# 2009年度

## 地震火山・防災研究センター 年次報告会

### プログラム

10:00 - 10:15 センター長挨拶 (ハイライト)

10:15 - 11:15

- ・「実用的地震予測に関する国際会議の提言」：山岡耕春
- ・「弾性波アクリスのこの1年の成果」：渡辺俊樹, 山岡耕春, 生田領野 (静岡大)
- ・「稠密GPS観測による断層帯周辺の詳細地殻変動」：鷺谷威
- ・「大都市圏強震動総合観測ネットワーク：2009年度の観測状況と今後の展開」：飛田潤

11:30 - 12:45

- ・「熊野灘および駿河湾における海底地殻変動観測」：田所敬一, 杉本慎吾, 渡部豪, 奥田隆, 宮田皓司
- ・「海中音速の時空間変化を同時推定する海底測位手法の開発」：杉本慎吾, 田所敬一, 奥田隆, 渡部豪, 宮田皓司 (名古屋大学), 生田領野 (静岡大学), 佐柳敬造, 長尾年恭 (東海大学)
- ・「地震観測に使用するバッテリー管理について」：堀川信一郎
- ・「職場の環境安全管理と衛生管理業務について」：奥田隆
- ・「大学の国際活動の一環としてのJICA研修」：木股文昭

14:00 - 15:00

- ・「コーダQの周波数依存性」：古本宗充
- ・「平均変位速度分布に基づく糸魚川 - 静岡構造線断層帯の地震規模の推定」  
：杉戸信彦, 鈴木康弘, 松多信尚
- ・「台湾東海岸の津波堆積物」：松多信尚
- ・「遠州灘・熊野灘～四国沖の大陸棚外縁撓曲の再発見とその意義」：鈴木康弘, 中田高 (広島工業大学)

15:15 - 16:15

- ・「西南日本域のプレート間固着-すべり分布の推定とそれをを用いた地震破壊伝播シミュレーション」  
：橋本千尋
- ・「限られた期間のデータを用いたプレート境界面の摩擦パラメータ範囲の拘束:地震発生サイクルモデルのデータ同化手法開発に向けて」  
：光井能麻, 堀高峰 (JAMSTEC), 宮崎真一 (京都大学), 中村和幸 (明治大学)
- ・「ぬるぬる地震 (津波地震を含む) の正体」：山中佳子
- ・「地震学的研究からみた2007年御嶽山小噴火」  
：中道治久, 橋田悠, Daniel Minifie (英国ブリストル大学)

16:30 - 17:30

山崎文人助教退職記念講演

- ・「御嶽山における地震火山活動」：山崎文人



2009年11月4日 御嶽 (撮影:山崎文人)

2010年3月23日 (火) 10:00~17:30 環境総合館1階レクチャーホール  
主催：名古屋大学大学院環境学研究科地震火山・防災研究センター  
<http://www.seis.nagoya-u.ac.jp> TEL052-789-3046

